

高知医療再生機構補助金講演会	3
F I M講習会 in 土佐 和田恵美子	3
出張報告 岡田博	4
第一回心不全療養セミナー 松田英之/久家由美	5
Smart Meal 内山里美/公文真理菜	6
人事考課研修	7
クリニック探訪 つむぎ診療所	10
父の日特別企画 西田一平	10

www.chikamori.com ● 高知市大川筋一丁目1-16 tel. 088-822-5231
 発行●2019年6月25日 発行者●近森正幸 / 事務局●寺田文彦

近森病院看護師特定行為研修 開講式 2019年6月1日



新たに「創傷管理関連」が加わりました！

看護師特定行為研修指導責任者 川村 佳代

仕事と研修の両立

6月1日、近森病院教育研修センターにおいて、2019年度看護師特定行為研修開講式が行われました。本年度より「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」「血糖コントロールに係る薬剤投与関連」の2区分に、「創傷管理関連」1区分を追加し、4期生は栄養・血糖コース7名、創傷コース3名、計10名で研修をスタートすることになりました。

年々、特定行為研修への理解が深まり、研修受講希望者が増加してきており、本年度は高知県以外（香川県・徳島県）からの受講生を迎えることになりました。遠距離でもあり仕事と研修の両立では苦労することがあるかもしれませんが、受講生の所属施設とも連携しながらしっかりと支援していきたいと思っています。

特定行為を安全に実施

開講式を終えた受講生10名は、早速e-learningで共通科目を個々に学び、月2回程度研修センターに集まり、演習等を通してみんなでその学びを深めていきます。

その後、11月より区分別科目が開始され、講義、演習、実習を行っています。「創傷管理関連」の実習では、当院だけでなく、高知県立あき総合病院や独立行政法人地域医療機能推進機構高知西病院に協力施設になっていただき、各施設の指導者のもと特定行為が安全に実施できるよう、様々な症例に対応しながら実習を進めていく予定になっています。

働き方改革にも関連して

昨今、働き改革が進められ、本年4月より「働き方改革を推進するた

めの関係法律の整備に関する法律」が施行され、また医師の働き方改革についても議論が進められています。医師の働き方改革の議論の中では、タスクシフティングとして「特定行為研修を修了した看護師」の活用が注目されています。

こうした社会情勢のニーズに応え、医療・看護の質の向上に貢献できる看護師となるよう、関係者の皆様のご協力をいただきながら本研修を進めていきたいと思っています。また、来年度以降、急性期領域で活躍できる特定行為の追加についても検討していきたいと考えております。よろしくお願いいたします。

かわむら かよ





精神科認定看護師
近森病院総合心療センター
副看護部長 武田 直子

総合心療センターとラポールちかもり（訪問看護）の特徴をひとことでいえば、「当事者主体のチームワーク」です。これは、田村雅一先生、梶原和歌顧問の時代から引き継いできた伝統です。

私は、日本精神科看護協会の精神科認定看護師（退院調整領域）を取

主体的にリカバリーの道を進む支援



ロゴ：Certified Expert Psychiatric Nurse 精神科認定看護師

書籍：関わりの参考に行っているガイド（イギリスの団体が作成）▶



得させていただき、長期・短期入院にかかわらず、看護師が主体的に退院支援に取り組むための仕組みをつくり、研修会を開催し、他の病院、地域や行政とのネットワークづくりをしてきました。

看護師として精神科にかかわった当初から今まで、常に大切にしてきたのは、当事者の力を信じて、主体的に生活できるように支援することです。それは、思いを尊重し合意を形成することにつながります。言い換えれば、リカバリー（本人の回復への道）を邪魔することなく伴走（歩）者としてともに歩いていくことです。

現在は、職場以外でも当事者と活動し、ともに学びあう機会が多くあります。精神科の分野は奥が深く、虐待やさまざまな依存症、災害の精神的支援（DPAT）など精神科看護師に求められる社会的役割はさまざまです。病棟とともに外来看護の質を高め在宅支援を充実させるためにスタッフも支援し、まわりに勇気や元気を与え、力を引き出すことができるように、精神科看護師としての役割を果たしていきたいと思います。

たけだ なおこ

7月の歳時記

向日葵

近森病院 言語聴覚士
河本 実紗希



向日葵は、元気・ポジティブ・明るいイメージの夏の花。花言葉は「憧れ・あなただけを見つめる」などです。

私は、夏が好きなので太陽のような向日葵を見ると元気をもらえ夏が来た！と感じ毎年ワクワクします。7月～9月にかけて咲く向日葵、高知でも土佐市に向日葵畑がありとても綺麗なのでみなさん是非一度行ってみては。

かわもと みさき



● 近森看護学校通信 35 ●

ニーズにあわせた広報活動

近森病院附属看護学校 事務局 上甲 浩道

2020年度受験生用パンフレットが完成し、高知県下の高校へ学校紹介のため訪問を行いました。今年は例年よりも早い5月の高校訪問となりました。これは昨年の高校訪問の際、卒業生の進路が決まる6月までには入試情報がほしいと、進路担当の先生からご意見をいただいたからです。

こういった学校内外からのご意見をもとに、広報活動は少しずつ変化

しています。例えば、資料を入れる袋は中身の見える透明ビニールへ変更したことや、社会人入試の情報発信として労働基準局やハローワークへの資料の展示などです。

今後もさまざまなニーズに合わせて広報活動を行い、看護師を目指す高校生や社会人の方から選ばれる学校として評価されるよう努力していきたいと思います。

じょうこう ひろみち



沖縄県立中部病院
リウマチ・膠原病内科
金城 光代 先生

リウマチ膠原病内科 講演会の開催のご報告

近森病院リウマチ・膠原病内科
(脳神経内科兼任) 科長 吉田 剛



2019年4月26日、沖縄県立中部病院 リウマチ膠原病内科の金城光代先生をお招きし、講演会を開催いたしました。金城光代先生は米国リウマチ膠原病内科専門医であると同時に優れた総合内科医として大変ご高名な先生であり、本会は昨年に続く2回目となりました。

前回同様に、若手の先生を対象として、病歴聴取、身体診察に重きを置いた内容でご講演をいただきました。

た。途中、研修医の先生たちに鑑別診断を挙げてもらいながらの進行でしたが、指名された先生は難しい症例でもしっかりと自分の言葉で考えを伝えておられたのが印象的でした。

翌日朝は、2年目研修医の岡本先生が準備された症例をもとに、金城先生を交えて症例検討会を行いました。前日の講演内容を踏まえて、研修医の先生たちはしっかりとした議論ができ、成長を感じることができま

した。

2日間を通して、大変意義深い講演会となりました。来年はより素晴らしい会となるように努力して参ります。

よしだ たけし



F I M講習会 in 土佐

2019年5月18日

「FIM講習会 in 土佐」開催報告

近森リハビリテーション病院 院長 和田 恵美子

5月18日に「F I M講習会 in 土佐」を開催しました。F I Mとは機能的自立度評価表の略で日常生活の評価表です。診療報酬にも取り入れられ広く使われるようになっており、四国では当院が唯一講習会を開催しています。基礎編は第9回、応用編も第3回となりました。

症例問題を解いたあとに少人数でグループワークを行なう応用編を午前に行い、講義形式の初級編を午後から行ないました。応用編は毎年症例をかえ、リハビリテーション病院内で試してみても本番を迎えています。

講義を行うスタッフも毎年メン

▼初級編

▼川崎医療福祉大学学長 椿原彰夫先生を迎えて

バーを替えているので院内のF I M講師経験者の数も増えてきました。来年も5月開催を目標にしていますのでぜひご参加ください。

わだ えみこ





外傷整形外科医に夢を馳せて

近森病院整形外科 岡田 博

先生方のご厚意で5月31日～6月2日にタイのバンコクにあるChula Soft Cadaver Surgical Training CenterでCadaver Trainingを行ってきました。Cadaver Trainingとはご遺体を使用した手術手技研修のことです。

今回はご遺体一人につき、講師の

先生一名、研修生二名といった非常に濃厚で濃密なトレーニングで、普段滅多に経験することのない骨盤骨折に対するアプローチを学びました。タイでは医学の発展の為に死後に献体するといった文化が進んでおり、我々以外にも複数のグループが研修を行っておりました。



実際の研修内容ですが、各テーブルにご遺体がそれぞれ一体ずつ並んでおり、黙とうを捧げてから本番の手術と同様に皮膚を切開し開始します。さすがに出血はありませんが、血管を切れば血が滲み出すので、とても緊張感をもって研修を行なえます。

骨折を想定し、そこまでの解剖と展開のスキルアップ、展開後に骨折を人為的に作り、それを修復する手技を学んできました。研修の最後に黙とうをささげ、1日の研修を終了します。

2泊3日、実質タイでの滞在は1日と少しの弾丸研修でしたが、非常に有意義な研修であり、余談ですが研修後の心身ともに疲れ切った体へのタイ古式マッサージは格別なものでした。

おかだ ひろし

薬剤部

NEW

調剤分包機が新しくなりました！6月1日より2台入れ替えました。正確性・効率アップを期待しています。



『健やかな老後をめざして』令和を生きる中高年に贈る応援メッセージ

著者：高知大学名誉教授 森 惟明先生

高知大学名誉教授森惟明先生が『健やかな老後をめざして 令和を生きる中高年へ贈る応援メッセージ』を出版されました。

今後の超高齢社会で「人生100年」を自立して生きていく上で、本書を高齢者ならびに高齢者予備軍の方に参考にさせていただければ幸いです。

社会医療法人近森会理事長 近森正幸

森 惟明（もり これあき） 著者略歴

1934年大阪府生まれ、京都大学を卒業後、国内外の病院で従事し、1981年高知医科大学（現高知大学医学部）脳神経外科の初代教授を務める。厚生省研究班班長、高知県医師会理事、国際小児神経外科学会倫理委員会委員長などを経て、現在は高知大学名誉教授。著書多数。

※当院外来・病棟内図書「近森文庫」、および職員対象で管理棟図書室にも置いてあります。

【送付販売申込先】（株）歳時記屋
〒780-0072 高知市杉井流 19-2
Tel. 088-882-0333/Mail event@sajiki8.com



お求めは、高知県主要書店、もしくは左記までお申し込みください。

「心不全療養セミナーをはじめました」



近森病院循環器内科 松田 英之
近森病院5階B病棟
看護師 主任 久家 由美

心不全パンデミックをご存知でしょうか？

心不全になる方が急激に増加しており、近い将来医師だけでは対応できなくなってしまう可能性があると言われています。そもそも、心不全とはどのような病気でしょうか。学会によると「心不全とは心臓が悪いために、息切れやむくみが起こり、

だんだん悪くなり、生命を縮める病気」と定義され、慢性疾患であり、何らかの要因により再増悪し、生命予後を縮めるといわれています。

その要因は主に「内服の飲み忘れ」「塩分のとりすぎ」「過労」等、生活習慣にかかわる要素が大きいとされ、多職種による介入が必須であります。

そこで、当院でも心不全多職種チームを設立し、週に1回カンファレン



スを行っています。また、その輪を増やすため月に1回心不全療養セミナーを開催することにしました。第1回は113名に参加していただき、晴れやかな出発となりました。今後も、この輪をどんどん広げ、いずれは高知県全体まで拡大していきたいと思っています。

まつだ ひでゆき／くげ ゆみ



リレー エッセイ

海と山

近森病院救命救急病棟
看護師 篠原 弘樹



突然ですがみなさんは出かけるのならば「海」と「山」どちらへ行きたいですか？現在の私は海派です。山派のみなさんごめんなさい。子供の頃には家族で登山に出かける機会も多く、瓶ヶ森や寒風山、石鎚山などにも登りました。ですが、元々釣りが好きだった影響かいつの間にか山に行く機会が減り、川や海へ行く



機会が増えて気が付けば海派になっていたというわけです。登山も楽しいのですがね。苦労して登った頂上で食べるご飯なんか達成感と景観が合わさって最高ですよ。

さて、海派なのに山のことばかり書いてもあれなので海の話を書きます。幸い高知県は海に面していますので釣り場には事欠きません。竿とリールとエサがあればどこでもできるのが釣りのいいところ。社会人になってからは出かける時間が減りましたが、休日に時々海に竿を出しに行っています。本格的に船を借りるのもいいのですが、堤防でやる分には費用も道具代くらいのもので済むのでお財布にも優しい。のんびり釣

り糸を垂らしてぼーっと海を眺めているのも割と好きです。特に何を狙うというわけでもないならサビキ釣りなんかが初心者、女性やファミリーでも楽しめておすすめです。小形の鯖とかアジなんか複数同時に釣れたりして楽しいですし、釣りたてを刺身やフライなんかにするのもおいしいですよ。釣りでご飯で2度楽しめます。機会があればみなさんも高知県という環境を活用して海や山に出かけてみてはいかがでしょうか。

しのはら ひろき

Smart Meal ~健康的な食事をあなたに~

▶「健康な食事・食環境」
認証制度認証書



高知県初認証！

臨床栄養部副部長 内山 里美
健康管理センター 公文 真理菜

Smart Meal START
スマートミール

まんぞく、そのまま。しっかり健康

職員食堂では、一定の条件を満たし承認を得た、健康的で栄養のバランスのとれた食事であるスマートミールを提供しています。

ちゃんと食べても **650kcal 以下**
野菜類はたっぷり **140g 以上**
主食もしっかり満足 **160g まで**

塩分はきちんと3g以下、調味料で工夫した自製のも美味いおかずです。

1日に必要な野菜の約40%を一食で補うことができます。

食物繊維が豊富な玄米などの未精製穀類を使用しています。

まずはこんな日からスマートミールを選んでみませんか？

つい食べすぎちゃった翌日や、楽しい飲み会前はスマートミールでかしくバランス調整！

今 近森会グループ 安全衛生委員会 (株)エムサービス

問い合わせ先 安全衛生委員会/臨床栄養部 副部長 内山(648) | 健康管理センター 公文(1713)

安全衛生委員会では、エームサービス株式会社のご協力のもと、2019年4月よりスマートミールメニューの提供を職員食堂で行っています。高知県では初の認証となります。

スマートミールとは、健康に寄与する要素を含む栄養バランスのとれた食事の通称です。例えば、塩分は3g未満と控えめ、野菜は140g以上とたっぷり。主食は玄米など精製

度の低い穀物を推奨しています。また、エネルギーは650kcal未満です。

健康的な食事とはどのようなものか、スマートミールメニューを通じて知っていただき、普段の食生活を振り返る機会になればと思います。※スマートミールや食生活について気になることがあれば、健康管理センターへお問い合わせください。

うちやま さとみ/くもん まりな

前列中央左から内山、北村外科部長、公文



◀ 鮭のから揚げおろしポン酢
ほうれん草の白和えなど
▼ 鶏肉のカレークリーム煮
大根とツナのサラダなど



職員限定 **300円 DAY**
全メニュー
近森会健康保険組合に加入している職員は
通常 **450円** → **300円**
で食べられる日もあります。



近森リハビリテーション病院
オープンホスピタル
2019/8/3
12:00~16:00

同時開催

近森病院附属看護学校
オープンキャンパス2019

8/3 8/7

10:00~ (受付 9:30~)

高校生・社会人の方大歓迎です!

体験内容

- 学校紹介・受験ガイダンス
- 看護技術体験・ユニフォーム試着
- 最新設備をご紹介! キャンパス見学ツアー
- 在校生と一緒にランチタイム

近森病院附属看護学校
TEL 088-871-7582

2020年度 近森会グループ 看護職員採用試験

日程 2019年 7/27(土)28(日)

TEL 088-822-5231

HP <http://shikokenmei.com/kango>

わたしたちと一緒に働きませんか?

freedom & flexibility

第2回 近森会グループ学術集会
2019

8月31日(土)
13:00 ~ 17:00
管理棟3階 会議室

今年は盛りだくさんの内容。認定・専門看護師の活動紹介ブースもあり! 同僚や他部門の取組を聞いて brush up!! 理事長の特別講演も必聴!

同時開催!!
栄養補助食品試食会
管理棟8階 食堂 12:00 ~



評価基準の統一のために

講師
株式会社フロインド
下田 静香 先生

8年目となる研修ですが、今年は評価者研修の初出席者には“基礎編”を設け、“応用編”とともに2種受講

することで、より理解を深められる効果的な研修となりました。



▲評価者研修 基礎編 28名・応用編 191名、被評価者研修に80名の出席が

私の趣味

卓球

近森リハビリテーション病院医療相談室
ソーシャルワーカー 大政 将裕



私の趣味は卓球です。学生時代は軟式野球をしていましたが、6年前に友人とバッティングセンターで卓球をしたことがきっかけで、その日以降、月2回程度楽しむようになりました。今年に入り、卓球経験者である職場の先輩と卓球をする機会があり、そこで回転サーブ、ドライブ、ツッツキなど様々な技術を目の当たりにし「僕もドライブを打ってみた

い!キレたサーブを出してみたい!」と思い、その日から練習をお願いして、現在はチームを結成し週3~5日卓球場や体育館へ通い練習を重ねています。練習のおかげで卓球が上達することに加え、副産物として2ヶ月間で3kg減量することが出来ました(笑)

そんな中、5月19日に初めて団体戦へ出場しました。僕たちは1、2、3部ある中から比較的初心者が多い3部リーグへ出場し9チーム中4位という成績を残すことが出来ました。

今後も練習を続けていき、もっと上のリーグで試合が出来るようになりたいと思います。

おおまさ まさひろ



ハッスル研修医

感謝の気持ちを忘れず



初期研修医 岸本 浩一郎

こんにちは。高知出身で大学入学後6年ぶりに故郷に戻ってきました。近森病院で研修を始めて2か月が経ちましたが、毎日が失敗と反省の繰り返しで、自分の至らなさを痛感していますが、多くの先生方や医療スタッフの方々に助けていただきながら充実した研修生活を送らせてもらっています。

私が思う近森病院の研修の醍醐味は一般外来です。問診と身体診察から鑑別疾患を挙げ、必要な検査を行い診断・治療していくという一連の流れを、上級医のご指導の下、自分がファーストタッチで行えるのはとても勉強になりますし、これまでの研修で得た知識や技量を試せる絶好の機会でもあります。

まだまだ未熟者で、皆さんにご迷惑をおかけすることが多いと思いますが、少しでもお役に立てるように日々精進して参ります。

今年は、よさこい祭りにも参加させていただきますので、それを機に多くの医療スタッフの方々と仲良くなりたいと思っております。今後ともよろしくお願い致します。

きしもと こういちろう

2019年よさこいチーム「ちかもり」



祝!
10回連続
出場

2019年8月10日 ▶ 11日

ニューフェイス

- ①所属②出身地③最終出身校
④自己アピールなど

人の動き 敬称略

おめでとう

職員対象 第94回

チカモリ・シネマクラブ

訂正とお詫び

母の日サプライズで執筆者を誤って中谷朱里としていました。正しくは中谷明里です。お詫びし訂正します。

編集室通信

先日、車のタイヤがパンクしたのでGSで応急処置をして、知人の整備士さんに「タイヤ換えないと」と見せると、「ぜんぜん大丈夫、高速もOK」となるとも商売ッ気がない。また何日かして古びた雑貨屋さんで竹のザルを買おうと訪ねたところ、店の主人がことあるうちに「こんなふうには竹をそいで作りなさいよ」といわれた。自分で「つくれ」とはなんという店だろう。でも、しかし、幼児虐待だとか痛ましい事件が溢れるなかで、心温まる想いがした。日本人の、あるいは人間の二極化が、すでに始まっているのかも知れない。 霖

2019年5月の診療数 システム管理室

近森会グループ

外来患者数	18,250人
新入院患者数	989人
退院患者数	1,025人

近森病院（急性期）

平均在院日数	12.81日
地域医療支援病院紹介率	82.60%
地域医療支援病院逆紹介率	315.29%
救急車搬入件数	553件
うち入院件数	274件
手術件数	459件
うち手術室実施	299件
うち全身麻酔件数	182件

● 2019年5月 県外出張件数 ●
件数 32件 延べ人数 70名

細胞検査士試験も一発合格の努力家

努力が実を結びますように…

名前の「奈」には「努力、ひたむきに前進」という意味がある。「努力が実を結び、生涯をかけ、それが続きますように…」そんな親の願いを込めて命名された「保奈実」。

全国平均合格率2割程度で、実技を含む二次試験まである難度の高い細胞検査士試験にも一発合格する実力の持ち主で、努力家でもある。込められた願いの通り成長してきた。

保奈実の好循環

例えば目の前の何かに気がつき、何かに注意を向けた場合。

その対象を分かりたいから調べようとする。調べると分かる部分が増え、よりクリアになる感じが強まる。するとより面白くなり、興味の範囲は拡がり、楽しくなる。すると、もっと知りたくなり、もっと知ろうとすることで知識は増える。

物心ついた頃から、そんな好循環のなかで育ってきたようだ。学校にあがると目新しいことが学べるようになり、学びは興味の対象をもっと増やすことになる。

それがやがて生物への興味にも広がったようだ。生物への興味は人間のカラダの構造そのものを知りたいという欲に繋がり、その欲は勉強好きな努力家を育てた。

解剖実習でそのものを知る

カラダの構造を知るには「解剖」が必要で、それを勉強できる大学を調べたら、高知からもそう遠くない岡山大学医学部保健学科検査技術科学専攻に「解剖実習」があることが分かった。

土佐塾中学高校在学中からコツコツ勉強し、望み通り岡山大学に進むと、色々な検査方法があることが分かり、それぞれにやはり興味が湧いた。

現在、主に取り組んでいる「病理」



を特に頑張りたいと思ったのは、検査機器がいくら進歩しても機器の判断の入りにくい部分が「病理」で、だからこそ自分の判断基準や技術のレベルアップが常に問われると感じたためだった。細胞検査士試験への挑戦も、技術のレベルアップを目指したものだ。

診断方法自体がどんどん更新されるなか、学会にもマメに参加するなど、日常的な努力が求められる。

そういった精いっぱい頑張っている感やその先の達成感が、生来の努力家の性に合うのだろう。

医師の診断の際の「道しるべ」ともなるべき材料を提供するのが病理検査担当者の役割でもある。

その緊張感を伴うやり甲斐は、「研鑽を怠らない努力」に見合う喜びを与えてくれてもいるようだ。

それぞれに円満な家族の風景

こんな幸せな仕事人は、どんな家族に見守られて育ったのだろう。

「父も母も、そういえば小さい頃からずっと家に居ましたねえ。家はお寺です。父親は脱サラで就職になりました」。で、お説教の題材を見つけるためもあるのか、「いつも机に向かって」という印象の強い父親と、料理など家事をきちっとしてくれる母親のおかげで、「家の中の空気は凜と澄んでいた」。

しかも、父親は「ある意味、少年み

たいなところのある、ちょっと不思議なキャラ」だと娘には映っている。なんと魅力的…。

年の離れた兄と姉もコツコツ努力型らしく、いまは医療職について頑張っていて、やはりそれぞれに円満な風景が見えてくる。

親からいろいろ指し図された記憶はない代わりに、できたことは一緒にすぐ喜んでもらえたとし、褒めてもらえることも嬉しかった。

始めたらずっと続けたい

母親から助言めいて言われた唯一の記憶は、「中学生になったら運動クラブに入ったらいい」ということだった。姉が始めていた硬式テニスのクラブに入り、ずっといまも続けている。やり始めたことは辞めずにずっと続けたいのだとか。テニスは他の病院との横つながりで知り合いもでき、休みには一緒に汗を流すこともあるらしい。

この『人物ルポ』欄で紹介される若手の皆さんには、「始めたことはずっと続けたい。辞めたくない」という共通点がありそうだ。

「習慣化」が事を成す秘訣の一要素になり得るのだろうが、保奈実さんの毎日にも、「楽しい努力の習慣」のヒントがどっさり詰まっているみたい。

▼オフには野外ロックフェスに行くことも…。よく働き、よく学び、よく遊び(笑)



つむぎ診療所 令和元年6月10日オープン

診療科目 ● 内科、小児科

住所 高知市瀬戸一丁目 2-58 (団地南口バス停前) P13 台

電話 088-802-6688

ホームページ <https://tsumugi-cl.com/>



院長 ● 富田秀春

S49.12.27 生

趣味 ● 野球観戦とビール

令和元年、瀬戸に内科・小児科つむぎ診療所を開院しました。年齢や疾患にかかわらず地域に役立つ医療を提供し、共に暮らしを紡いでいきたいと思っています。安心して受診できるよう、スタッフ一同お待ちしておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 9:00~12:00	●	●	/	●	●	●
予防接種 (予約制)	●	●	/	●	●	●
午後 14:30~18:00	●	●	/	●	●	●

休診日 水、日、祝日

設備 キッズルーム、授乳室、エレベータあり



クリニック探訪

▼キッズコーナーもあります



父の日特別企画

親愛なる父へ、尊敬する上司へ



▲息子一平 (左) と父一也

近森病院整形外科 西田 一平

昨年からこそ近森病院で、子供の頃からの夢であった整形外科医として勤務させて頂いております。私の父も医師をしております。一緒に働く機会もあり、「やりにくいかな」という質問をよくいただきますが、敬語を使う場面と使わない場面を時々混同するぐらいです。

家庭での父はいつも陽気です。お酒を飲んで冗談を言っては母や弟たちにツッコミをいれられ、いつも笑ってい

ます。怒る事はなく、4兄弟をいつも見守っています。

医師になって後輩から見た西田一也先生は、日頃の父そのままでした。腕前も然る事ながら、周囲を明るくする雰囲気やスタッフを気遣う姿勢は、医師としての知識や技術に負けず劣らず大切なものである事を学びました。同時に、やっと見えた父の背中が、遥か遠くにある事を思い知らされもしました。



母の日サプライズの瞬間を激写

誌面を見ると「知らなかった~どうしよう~」と満面の笑顔に。姉妹からのプレゼントのキーケース、ポーチと時計は常に持ち歩いているそう!



長男としては早々に引退して母と愉快的隠居生活を満喫してもらいたいののですが、後輩としてはまだまだ教えて頂きたい事が山積みで、当科に欠くことの出来ない存在だと思っています。仕事と親孝行を両立させる道は一つですが、とても長く険しいものです。いずれの立場からも言えるのは、いつまでも健康で(ビールを控えめに)居てもらいたいという事でしょうか。

にしだ いっぺい

お弁当拝見 73 スタミナ、バランス、彩り良く



近森病院 SCU
看護師 西内 園加



私は結婚するまで実家で暮らしていたこともあり、料理は気が向いたときにする程度でした。共働きのため夫と一緒に、料理アプリや母に習ったものを参考に作っています。

お弁当は、勤務の関係でわたしが作ることが多いのですが、夫は仕事柄身体を使うので、スタミナやバランスを考えたように作っています。また、少



しでもお昼を楽しんでもらえるよう、彩り良くできるように頑張っています。 にしうち そのか